

機械器具39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 10861001

フレキシブル ENDO-PSI

【禁忌・禁止】

- ・圧縮して1.0mm未満あるいは2.4mm以上になるような組織には使用しないこと。[巾着縫合不全の原因となるため]

【形状・構造及び原理等】



材料:ステンレス鋼

適用縫合針 2-0 モノフィラメント ポリプロピレン縫合糸(両端 直針)
巾着縫合糸付縫合針 NC-WT48F02M-90

＜原理＞

本品は、腹腔鏡下手術の際、トロカール創から体腔内に挿入し、組織を把持し、巾着縫合を行う。

【使用目的又は効果】

臓器、組織を把持するために用いる手術器具。本品は再使用可能である。

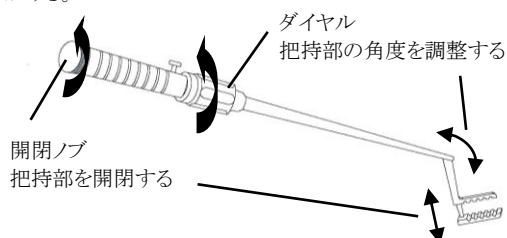
【使用方法等】

＜使用前＞

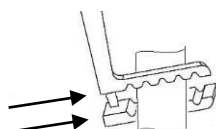
- ・本品は未滅菌品のため、使用に際しては【保守・点検に係る事項】を参照して、必ず洗浄を行い、所定の方法で滅菌する。
- ・手術前に【保守・点検に係る事項】を参照して、点検を行う。

＜使用方法＞

1. 患者左側ないしは臍部の10mm以上のトロカールを抜去する。
もしくは5mmトロカールを抜去し、創部を8mm程度に延長する。
2. 1. のトロカール創から本品を腹腔内へ挿入する。
3. 切離位置を確認し、切除側に着脱型腸鉗子(腸管クリップ)をかける。
4. ダイヤルを反時計回りに回転させ、把持部の角度を調整する。
5. 開閉ノブを反時計回りに回転させ把持部を開き、組織に対し垂直にかける。



6. 開閉ノブを時計回りに回転させ、確実にクランプする。
7. 本品に適用する専用糸付縫合針を患者右側から挿入し、上下同方向から刺入し、2本とも対側より針を抜く。



8. 両端8cm程度糸を残して針を回収する。
9. 外科結紮の仮結紮をおき、そこから数cm離れた位置にMLクリップを打ち、糸を収束する。
10. 組織を一部残して切離する。(アンビルの挿入がやりやすいため)
11. 本品を組織からはずし、把持部は閉じ、まっすぐな状態に戻して、抜去する。
12. 自動吻合器のアンビルを内腔に挿入する。
13. 仮結紮とクリップの間の糸を対側方向に引っ張り、巾着を締める。
14. 全周にわたり巾着縫合できていることを確認する。
15. 一部残っていた組織を完全に切離する。
16. 緩まないように結紮する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・術者は、手術前に用意された本品に汚れ、腐食、損傷、曲がり、傷等の異常がないことを確認すること。
- ・本品と併用するその他の手術器具は、使用前にそれらの説明書を熟読すること。

【使用上の注意】

＜不具合・有害事象＞

本品を適切に使用しない場合、以下の不具合・有害事象が発生する可能性がある。不具合・有害事象が観察された場合は、速やかに適切な処置、措置を講ずること。

(1) その他の不具合

- ・本品の不適切な使用による破損、変形、損傷、腐食
- ・繰り返し使用による本品の疲労破損

(2) 重大な有害事象

- ・本品の不適切な使用又は破損による組織の損傷

【保管方法及び有効期間等】**

- ・滅菌済の状態では保管する際には、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、滅菌有効期限を管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前に動作及び外観を点検し、異常が認められるときは使用しないこと。
- ・故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家に任せること。
- ・使用後は、速やかに洗浄し、高圧蒸気滅菌またはエチレンオキシドガス滅菌すること。
- ・洗浄にあたっては院内の規定に従い、また、滅菌にあたっては滅菌器の取扱説明書を必ず参照すること。
- ・修理点検のために本品を返送する場合は、必ず洗浄・滅菌してから発送すること。

＜洗浄方法＞**

- ・洗浄液は、医療用中性洗剤を使用する。アルカリ性、酸性の洗浄剤を使用する場合には、残留物が残らないように純水にて十分にすすぎを行うこと。
- ・滅菌する前、把持部をはじめとした全ての接合部及び可動部に、動きをスムーズにするため、水溶性潤滑防錆剤を必ず注入・塗布する。

自動洗浄器

- ・適切なラックを使用し、他の器具と重なり合わないように入れる。
- ・器具の接続部は解放し、分解してラックに入れる。
- ・内視鏡機器のプログラムが設定されている自動洗浄器を使用する。(洗浄方法については、自動洗浄器の製造販売元の取扱説明書を必ず参照すること。)

- ・洗浄剤や水質によっても製品にダメージを与える場合があります、器具に変質等が生じた場合、直ちに自動洗浄器の使用を中止し、洗浄剤、水質の確認を行うこと。

用手洗浄

1. 洗浄溶液に浸漬する。(時間、濃度、温度については、洗浄剤の製造販売元の指示に従うこと。)
2. 柔らかいスポンジでよく洗い、血液や微細組織片など、こびりついた成分を全て取り除く。
3. 全ての可動部が完全に清掃されていることを確認する。
4. 洗浄剤の残留がないよう蒸留水・脱イオン水で十分にすすぐ。
5. すぐに乾燥させる。

超音波洗浄

- ・必要に応じて行う。(ただし、5分以内)。

<滅菌方法>

- ・高圧蒸気滅菌(オートクレーブ滅菌)またはエチレンオキシドガス滅菌する。(時間、温度及び圧力の設定は、滅菌器の製造販売元の取扱説明書を必ず参照すること。)
オートクレーブ滅菌 プレバキューム式 134℃ 5分 推奨

<点検項目>

手術前に必ず作動チェックをして、器具の安全性を確認すること。

- ・汚れ、曲がり、傷、錆、がたつき等がないか
- ・把持部のかみ合わせが悪い、がたつき、不具合等がないか

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者： 株式会社平田精機
〒273-0128 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山 2-10-17
TEL 047-386-2101

販売業者： ホープ電子株式会社